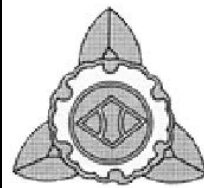


小須戸小学校だより

NO.4

令和4年 11月11日(金) 発行



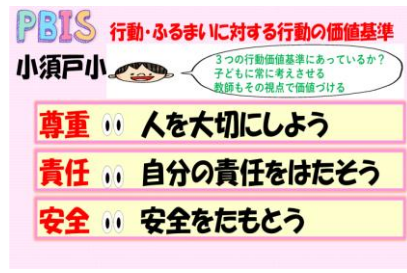
「こすどっ子マインド」って何？

校長 河野 健一

小須戸小学校では「こすどっ子マインド」を基本的な考え方として生活指導に取り組んでいます。「こすどっ子マインド」とは、アメリカで開発された PBIS (ポジティブな行動への介入と支援を基盤とする包括的生徒指導アプローチ) の理論に基づいた実践です。今までの生活指導との違いは個別の児童をどう変えるかに注目するのではなく、問題行動の減少のために教師のアプローチや学校環境をどう変えるかに焦点を置いています。「走るな」「喋るな」という否定的な指導ではなく、「どうあってほしいか」「どういう行動をとるべきか」という期待像をはじめから明らかにしておく、それに必要なスキルをすべての児童に教えます。行動も教えることができるという発想が基盤になっています。

PBIS では子どもの好ましい行動を引き出すようなきっかけや状況を積極的につくり、望ましい行動ができたなら、それに好ましい結果が伴うようにすることで子どもたちが望ましい行動を自発しやすく、続けやすい環境をつくっていきます。

職員も研修を繰り返し、子どもたちとともに「こすどっ子マインド」を身に付け、居心地のよい学校、学級作りを目指しています。



これらの図は職員研修で使用したものの一部です。また、常に意識してよりよい行動ができるよう校舎の至る所に「こすどっ子マインド」のポスターを貼っています。

